

静岡県で働く女性医師の皆さんを応援します



平成30年度 事業報告書



ふじのくに女性医師支援センター

目次

1 ご挨拶 1

戸倉 新樹 浜松医科大学皮膚科学講座 教授
谷口千津子 浜松医科大学附属病院
女性医師支援センター 特任助教

2 事業について 3

- ・ 概要
- ・ 取り組み
- ・ メンバー構成

3 実績報告 5

- ・ 事業目標と成果
- ・ 支援に向けての連携体制
 - ・ 大学診療科との連携
 - ・ 県内医療機関との連携
 - ・ 協議会
- ・ 実施状況
 - ・ 啓発活動
 - ・ 交流会（機構との交流会）
 - ・ 学生支援（はまキャリ・講義）
 - ・ 相談窓口の設置
 - ・ センターの活用
 - ・ マタニティ白衣の無料貸出し

4 広報活動・情報発信 23

- ・ ホームページについて
- ・ パンフレットの発行
- ・ メディア掲載
- ・ 講演会・シンポジウム等での発表
- ・ その他

5 アクセス・発行について 28

ご挨拶



センター長挨拶

戸倉 新樹

浜松医科大学皮膚科学講座 教授

ライフイベントは女性医師にとって重要な課題であり、とくに出産、育児は人生の選択そのものです。子育て中の女性医師は長期休職となることが多く、復帰してもパートタイマーとして働くことが多いのが現状のため、特に時間外勤務や夜勤が多い診療科では、出産、育児により現場を去る女性医師が増加しています。ふじのくに女性医師支援センターは、その支援を組織化し、効率を挙げ、実質的なものとする目的に向かって邁進しています。

一方では女性医師支援は、医師不足の解消という目的もあり、浜松医科大学では「静岡周産期医師長期支援プログラム」を文部科学省の事業として平成21年～25年にかけて行っていました。次いで女性医師支援相談窓口設置事業が静岡県の浜松医科大学への補助事業として平成25年から27年まで行われ、続いて現在、浜松医大女性医師支援センターは、静岡県のふじのくに女性医師支援センターとしても機能しています。出産後の女性医師の復帰は、静岡県の医療にとっても実現すべき重要な目標ですので、出産後早期の職場復帰をサポートし、非常勤医師の常勤化を促していきたいと考えています。

復帰にとって、情報の集積と発信は大きなツールとなるため、県内のどういう病院がどういう条件で女性医師の復帰を行っているか、また勤務形態は斟酌されているか、と言った情報を集積するために、センターでは谷口医師を中心に県内病院を訪問しています。最終的にはウェブシステムで得ることができれば、情報収集のための努力を省略することができるのですが、その前段階の活動をし、大きな成果を挙げつつあります。子育て支援についても、女性医師支援センターは、認可保育園などの情報収集と発信、育児のためのスペースの提供、病児病後時保育の運営など重要な役割を担っているため、こうした活動が広く県内に拡大することを次のステップとしていきたいと考えています。そのためにも病院内外において、情報交換や体験談に基づく講演などを企画しており、その情報や成果も提供しています。また浜松医大附属病院には女性医師支援センターの非常勤医師枠による雇用も稼働し、常勤医員でも活用可能となっています。

同じ問題や悩みを抱える女性医師が頼る場となることがふじのくに女性医師支援センターの目指すところです。対象女性医師が気軽にしかも実質的に利用できるようなプラットフォームを理想と思い描いています。

専任医師挨拶



谷口 千津子

浜松医科大学附属病院

女性医師支援センター 特任助教

現在日本国内就業している医師のうち、20歳代、30歳代の女性医師の割合は特に増加傾向がみられています。これらの女性医師の中には結婚・出産・子育てを通じてキャリア形成やその維持について、また育児や子供の教育に関わる母親として仕事と家庭のありかたを悩み、選択を迫られる人が少なくありません。静岡県内においても同様に医師の少ない地域にあって、自身のキャリア形成と育児・家庭生活の両立に悩みながら、日々努力を続けている女性医師が多く見られます。

平成29年4月から開設した「ふじのくに女性医師支援センター」は妊娠中・育児期であっても、ご自身の家庭環境に合わせた就業環境を整えていけるような様々な情報をワンストップで提供し、家庭生活を充実させつつキャリアを積んでいけるような就業支援活動、子育て支援活動を静岡県内の医療機関や浜松医大と連携して行っています。

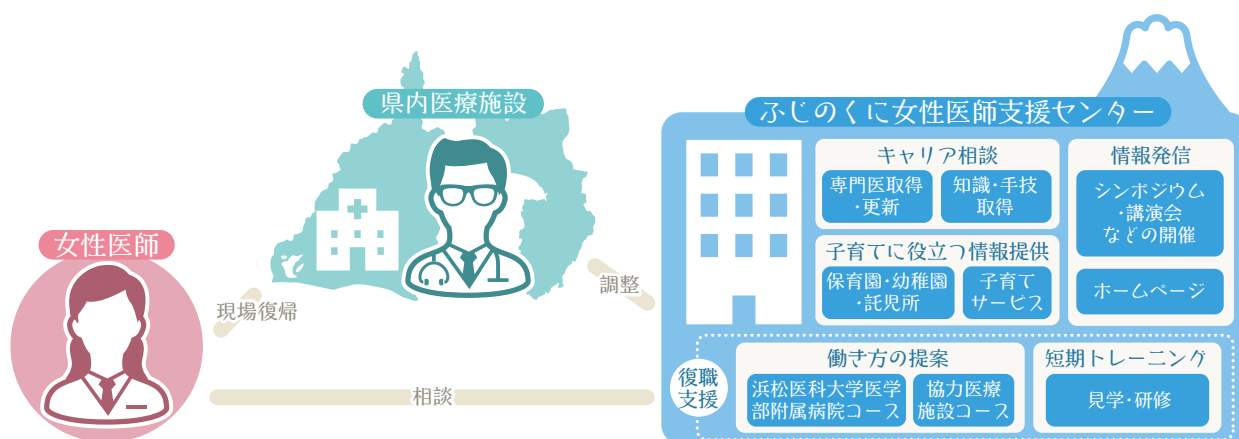
2年目を迎えた平成30年度は昨年度に引き続き県内医療施設や浜松医科大学各診療科と情報を共有し、連携していくための訪問活動を行い、県医師会・県立病院機構と協力して女性医師を対象とした講演や交流会を開催してきました。本年度は更に復職を目指した女性医師に対して個々の状況に合わせた相談と医療機関との連携による復職支援を行って参りました。地域的に様々な背景がある医療施設との連携や現場の女性医師に対し、センターの周知を目的とした活動の難しさを実感する一方、妊娠中や産休中に相談に来られ復職に向けて意欲を見せつつも、不安を多く抱えている先生方の話を伺って、これからの女性医師支援センターのあり方が見えてきた一年となりました。来年度以降もコーディネーターとして出来るだけ多くの方のお役に立てるような活動を考えていきたいと思っています。

これからも「ふじのくに女性医師支援センター」の活動にご理解とご協力をよろしくお願い致します。

事業について

活動概要

県全体の女性医師支援を推進する「ふじのくに女性医師支援センター」を設置し、これまでの普及啓発、情報発信を中心とした支援に加え、出産等により離職した女性医師からの就業相談、求人病院とのマッチング、キャリア形成支援、病院訪問による離職医師の情報収集など、より実効性の高い取組を積極的に実施することにより、女性医師が県内で更に活躍する仕組みを構築します。



取り組み

キャリアサポート

①キャリアコンサルタント

出産・育児や介護などライフイベントによる医師としてのキャリア継続の不安をお持ちの方や、休職中の方、復職を考えている方へキャリア支援のためのコンサルティングを行っています。

②復職支援

それぞれの状況に合わせた、働き方の提案を行っています。浜松医科大学をはじめ、県内の医療施設と連携し、スムーズに復職ができるようサポートします。

- 1) ワーキングコース ■浜松医科大学医学部附属病院コース ■協力医療施設コース
- 2) 短期トレーニングコース ■見学コース ■短期研修コース

③啓発活動

静岡県医師会・浜松医科大学と共催で講演会やシンポジウムを開催しています。

これから医師を目指す人、現在働いている先生、病院の管理者の先生方が情報共有できるようイベントを通して情報発信をしています。

両立サポート

- ①情報提供（子どもの預け先、育児サービス等）
- ②マタニティ白衣の無料レンタル

構成メンバー

ふじのくに女性医師支援センター

区 分	内 容
開 設 日	平成 29 年 4 月 3 日（月）
開設場所	浜松医科大学医学部附属病院（病院棟 5 階 503 号室）
組織体制	センター長 戸倉 新樹（浜松医科大学医学部附属病院女性医師支援センター長） コーディネーター（専任医師） 谷口 千津子（浜松医科大学医学部附属病院女性医師支援センター特任助教） コーディネーター（専従事務員） 袴田 菜穂子（浜松医科大学医学部附属病院女性医師支援センター）
時 間	午前 9 時から午後 5 時まで

女性医師支援連絡協議会

区 分	内 容
目 的	センターの運営が、設置の趣旨に沿って効果的に行われるようにするため、女性医師支援連絡協議会を設置
協議委員	会長 鶴田 憲一 静岡県理事（医療衛生担当） 委員 奈良 雅文 静岡県健康福祉部医療健康局技監 委員 角嶋 直美 静岡県立静岡がんセンター内視鏡科医長 委員 野々木 宏 静岡県立総合病院安全衛生監兼集中治療センター長 委員 戸倉 新樹 浜松医科大学医学部附属病院女性医師支援センター長 委員 小林 利彦 静岡県医師会理事 委員 谷口千津子 浜松医科大学医学部附属病院女性医師支援センター特任助教

実績報告

5

事業目標と成果

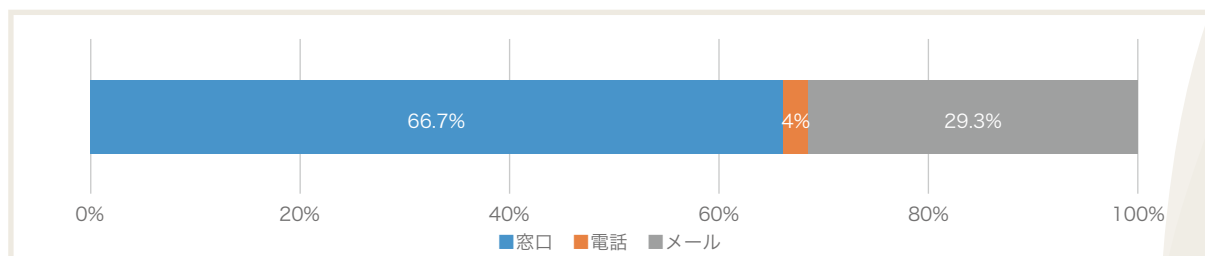
①相談事業について

区分	目標件数	実績件数
就業相談	50 件	160 件
キャリア形成相談	20 件	29 件

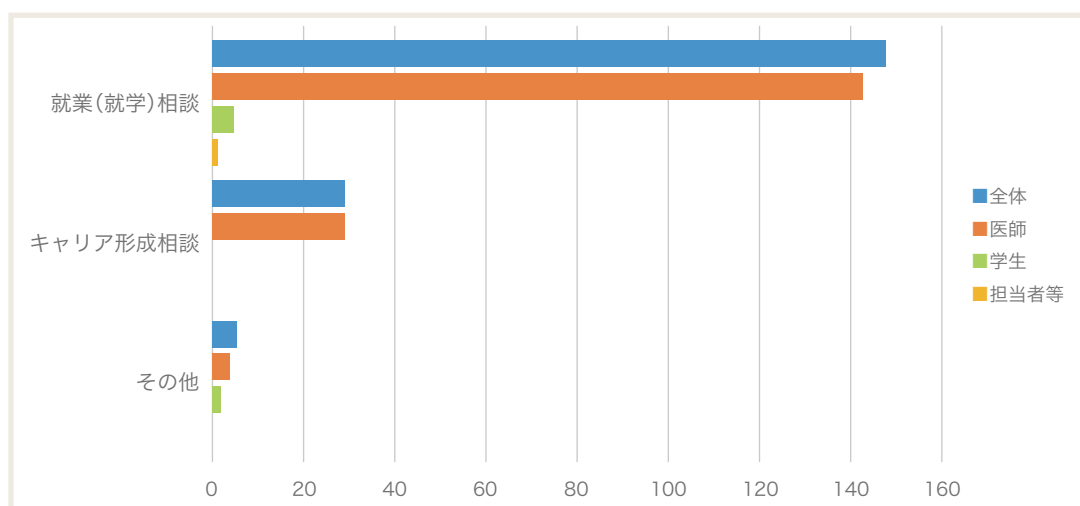
相談者数内訳：相談者数 34 名（医師 30 名、医学生 2 名、管理者等 2 名）、相談回数 75 回

区分	診療科	医師				学生	担当者等
		卒後 5 年未満 (30 年～ 27 年)	卒後 5 年～ 10 年未満 (26 年～ 23 年)	卒後 10 年～ 15 年未満 (22 年～ 19 年)	卒後 15 年以上 (19 年以降)		
医師	内科	1	1		1		
	精神科				1		
	小児科		2				
	外科				2		
	皮膚科		1	1			
	眼科				1		
	耳鼻咽喉科		1				
	産婦人科	1	6	3	2		
	放射線科		1	1			
	麻酔科				1		
	形成外科			1	1		
	病理診断科				1		
学生						2	
管理者等							2
合計 34 名		2	12	6	10	2	2

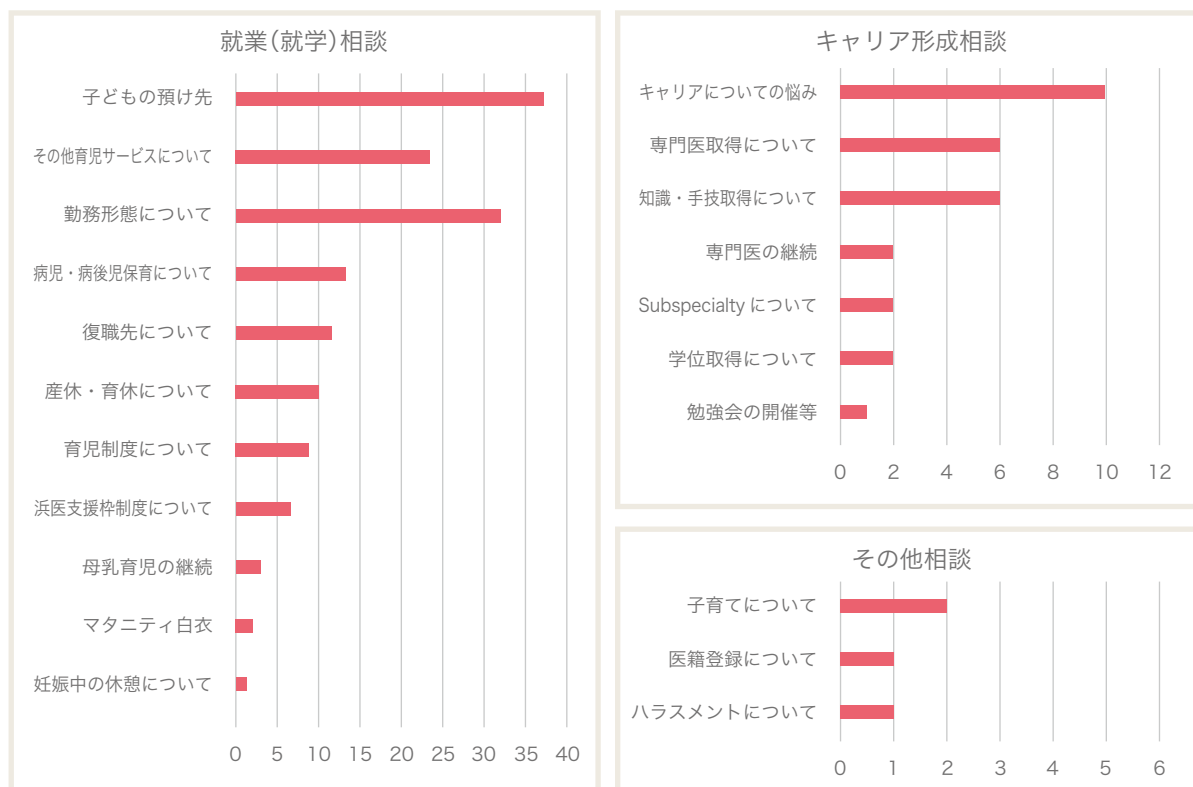
相談方法



相談項目別（※ 1 回の相談において複数の項目が該当する場合あり）



相談内容内訳（※ 1 回の相談において複数の項目が該当する場合あり）



②復職プログラム作成、運用について

区分	新規プログラム作成	プログラム運用
目標	4 診療科	5 名
実績	4 診療科	5 名

新規プログラムの作成については脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、救急科の 4 診療科より 5 プログラムを提示頂きました。

プログラムの運用について今年度は 5 名の方のプログラムを作成し復職支援を行いました。うち 1 名の方は浜松医科大学女性医師支援枠を利用して復職しており、1 名は次年度より女性医師支援枠制度を利用して復職予定です。

平成 30 年度復職支援者一覧

診療科	人数
精神科	1 名
産婦人科	3 名
形成外科	1 名
合計	5 名

勤務先一覧（H30.2 現在の勤務先）

診療科	浜松医科大学	その他医療機関	調整中
平成 29 年度	1 名	1 名	
平成 30 年度	3 名		2 名
合計	4 名	1 名	2 名

③大学内診療科、県内医療機関等への訪問等について

訪問施設等の詳細は P9 ～ P11 をご覧ください。

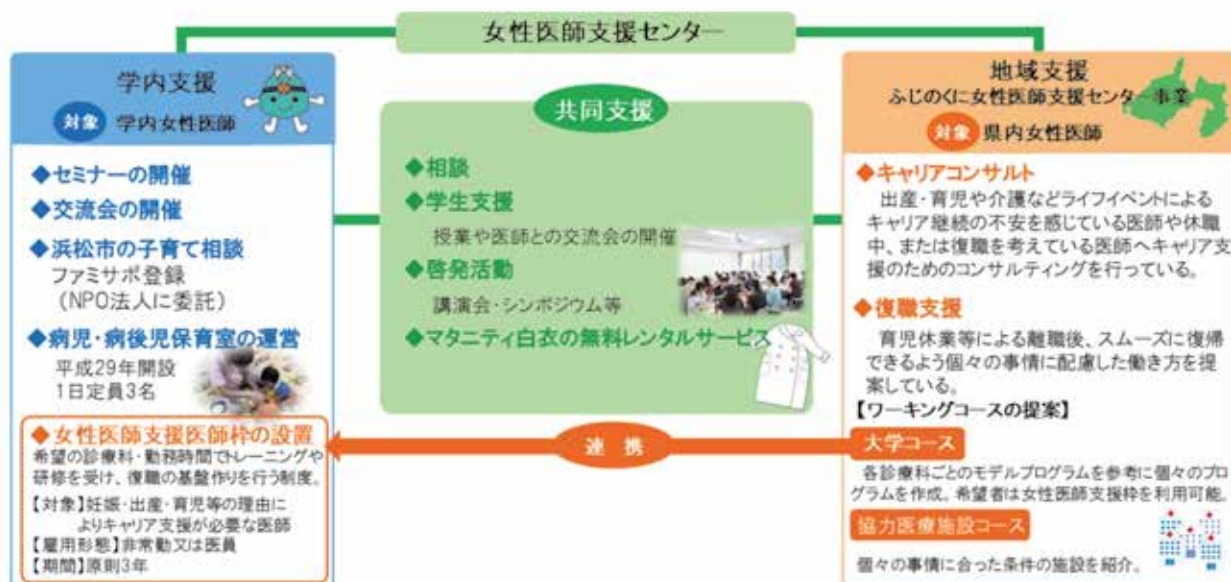
区分	浜松医科大学	その他医療機関
大学内診療科	20 施設	20 施設
その他医療施設	20 施設	20 施設

支援に向けての連携体制

大学診療科との連携

①大学との連携、組織図

ふじのくに女性医師支援センターは静岡県の委託事業として浜松医科大学が中心となり取り組んでいます。学内支援では大学女性医師支援センターが主体となり、学内女性医師を対象に病児・病後児保育室の運営やイベントを行っています。地域支援ではふじのくに女性医師支援センターが主体となり、県内全域の女性医師を対象に各医療施設と連携して就業・キャリアに関する幅広い支援を行っています。



②診療科訪問・復職トレーニングモデルプログラムの作成依頼

20 診療科を訪問し、事業の報告と「復職トレーニングモデルプログラムの作成を依頼しました。うち、今年度は新規で4 診療科より5 プログラムの提示がありました。現在、47 プログラムが浜松医科大学女性医師支援センターホームページより閲覧可能です。

※復職トレーニングプログラムとは出産や育児で一時的に臨床の第一線から離れざるを得なかった女性医師に対して、キャリア継続支援を目的として作られた就業計画書です。

浜松医科大学女性医師支援センターホームページ

<http://www2.hama-med.ac.jp/w1b/woman/index.html>

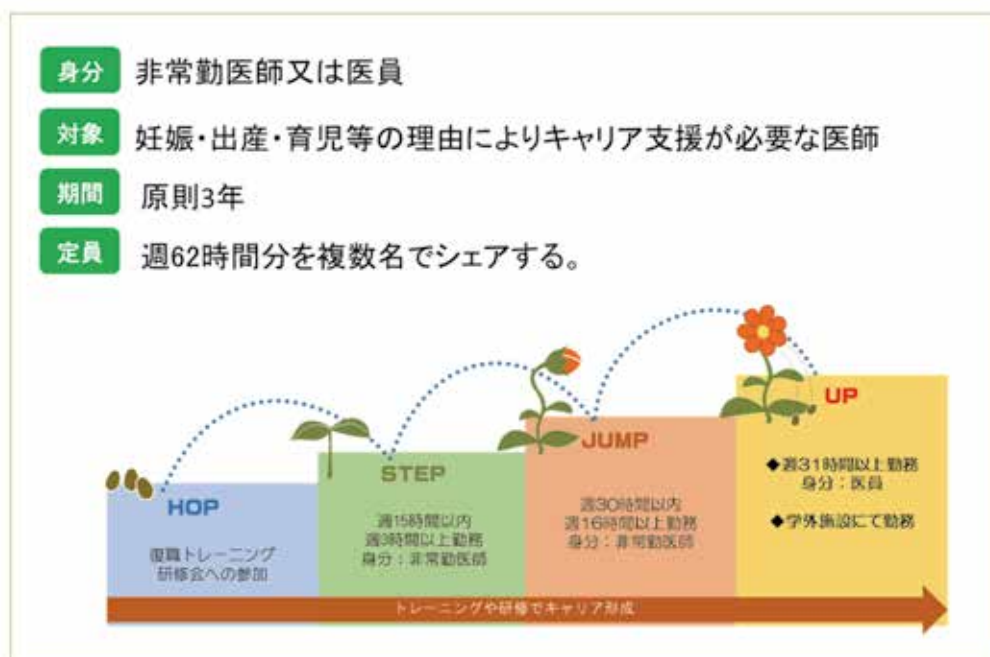


診療科訪問一覧

診療科	日程	プログラム数	診療科	日程	プログラム数
第一内科	1月11日(金)	3	泌尿器科	3月3日(水)	1
第二内科	5月2日(水)	6	眼科	4月25日(水)	1
第三内科	3月19日(火)	6	耳鼻咽喉科	5月2日(水)	1
精神科	11月13日(火)	3	産婦人科	9月14日(金)	3
小児科	1月11日(金)	6	放射線科	5月1日(火)	4
第一外科	3月6日(水)	5	麻酔科	1月9日(水)	1
第二外科	12月7日(金)	—	リハビリテーション科	4月17日(火)	1
脳神経外科	10月23日(水)	1	形成外科	9月25日(火)	1
整形外科	10月23日(水)	2	病理診断科	10月17日(水)	—
皮膚科	3月19日(火)	1	救急科	12月14日(金)	1
プログラム合計					47

③浜松医科大学女性医師支援枠の活用

常勤として勤務が困難な女性医師を含め、離職を避けるために、浜松医科大学女性医師支援センターにて採用枠を設け、医員または非常勤医師として雇用します。支援枠を利用している期間は希望の診療科でトレーニングや研修を行い、非常勤の医師は常勤医として大学または県内医療機関で復職できるような基盤作りを行います。この制度を活用しながら大学で復職希望の医師をサポートしています。



申込みの流れ



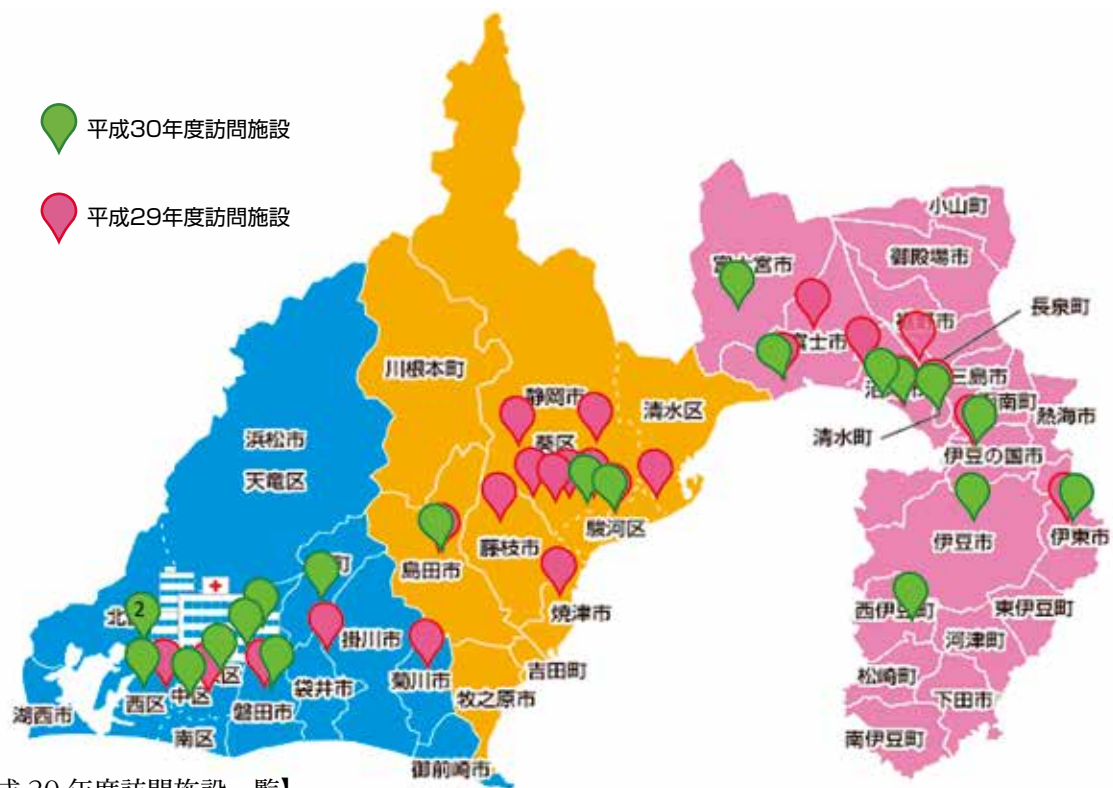
1. 利用希望者はエントリーシートに記入をし、勤務開始希望月の3ヶ月前までにセンターに申請をしてください。
2. エントリーシートに沿って現状や希望する勤務内容の確認を行います。
3. センター長と診療科担当医が申請の受理について検討します。
4. 採用となった場合は就業に関する具体的な内容について最終確認を行います。
5. 希望月より就業を開始します。

県内医療機関との連携

①訪問・協力依頼

県内の公的医療機関等は18施設、その他医療施設を2施設訪問しました、各病院長・担当医師・担当事務と面談し、下記について依頼しました。

- ①事業への協力（復職支援協力医療施設としてホームページに登録）
- ②院内の女性医師数等の情報提供
- ③院内での周知活動（チラシ・パンフレットの配布）



【平成30年度訪問施設一覧】

西部（8施設）	中部（3施設）	東部（9施設）
磐田市立総合病院	静岡赤十字病院	西伊豆健育会病院
公立森町病院	静岡済生会総合病院	伊東市民病院
国立病院機構天竜病院	島田市民病院	静岡医療センター
浜松医療センター		沼津市立病院
浜松赤十字病院		伊豆赤十字病院
JA静岡厚生連遠州病院		順天堂大学医学部附属静岡病院
聖隷三方原病院（2回）		聖隷沼津病院
十全記念病院		富士宮市立病院
		富士市立中央病院

②復職支援協力医療施設

復職支援協力医療施設とは下記の全ての条件を満たす施設です。

- ◆ 仕事と家庭を両立するための支援制度がある。
 - ◆ 専門医取得や更新を目指した就業支援が可能である。
 - ◆ ふじのくに女性医師支援センターのホームページに復職支援協力医療施設として情報を登録していること。
- また、センターのバナーを施設のホームページに貼ることが可能である。
- ◆ ふじのくに女性医師支援センターの活動に協力が可能な施設であること。

ホームページでは結婚・育児等で休職中の女性医師や家族の転勤に伴い県外から転居してきた女性医師が離職することなく、スムーズに勤務継続ができるよう復職支援協力施設の検索や閲覧できます。現在のホームページの登録施設数は19施設です。

地域で検索（複数選択可）			
☐ 賀茂	☐ 下田市	☐ 河津町	☐ 松崎町
	☐ 東伊豆町	☐ 南伊豆町	☐ 西伊豆町
☐ 熱海伊東	☐ 熱海市	☐ 伊東市	
☐ 駿東田方	☐ 伊豆市	☐ 伊豆の国市	☐ 沼津市
	☐ 三島市	☐ 裾野市	☐ 沼津町
	☐ 清水町	☐ 長泉町	☐ 御殿場市
	☐ 小山町		
☐ 富士	☐ 富士宮市	☐ 富士市	
☐ 静岡	☐ 静岡市清水区	☐ 静岡市葵区	☐ 静岡市駿河区
☐ 浜水橋原			
☐ 中津通			
☐ 西部			

診療科で検索（複数選択可）			
☐	☐ 内科系	☐ 消化器内科	☐ 腎臓内科
☐	☐ 内科	☐ 内分泌・代謝内科	☐ 呼吸器内科
☐	☐ 神経内科	☐ 循環器内科	☐ 血液内科
☐	☐ 肝臓内科	☐ 精神科神経科	☐ 小児科
☐	☐ 免疫・リウマチ内科	☐ 放射線科	☐ 病理診断科
☐	☐ 皮膚科	☐ その他	
☐	☐ 検診		
☐	☐ 外科系		
☐	☐ 外科		
☐	☐ 乳腺外科		
☐	☐ 脳神経外科		
☐	☐ 眼科		
☐	☐ 麻酔科蘇生科		
☐	☐ リハビリテーション		
☐	☐ 緩和ケア科		

支援内容で検索（複数選択可）	
仕事と家庭の両立に配慮した就業環境	☐ 非常勤勤務制度
☐ 短時間勤務制度	
☐ フレックスタイム制	
☐ 診療科による家庭の事情等による急な勤務変更へのバックアップ体制	
☐ 当番の免除	☐ 夜間オンコール免除
☐ 院内保育園	☐ 提携（院外）保育園
☐ 育児保育	☐ 産後児保育
☐ ベビーシッター費用補助	☐ 育児休業・介護休業等、長期休暇取得後の復帰支援
☐ 育児短時間制度（期間有）	☐ 学童保育（常時開設）
☐ 学童保育（長期休暇時のみ開設）	☐ 育児休業取得条件有り
☐ 育児休業・介護休業中の給与を保障	☐ 不妊治療休暇
スムーズな臨床現場復帰に配慮した就業環境（生涯学習への配慮）	
☐ 女性医師支援部門設置	☐ 復帰前の短期トレーニング（見学会等）
☐ 学会・研究会参加への補助	☐ 図書館の整備
☐ 文献検索・インターネットアクセスの整備	

【ホームページ登録施設一覧】（平成 31 年 3 月 20 日現在）

西 部	中 部	東 部
磐 田 市 立 総 合 病 院	静岡県立こころの医療センター	静 岡 医 療 セ ン タ ー
浜 松 医 療 セ ン タ ー	静 岡 赤 十 字 病 院	富 士 宮 市 立 病 院
JA 厚 生 連 遠 州 病 院	JA 静岡厚生連静岡厚生病院	富 士 市 立 中 央 病 院
聖 隷 浜 松 病 院	静 岡 徳 洲 会 病 院	池 田 病 院
聖 隷 三 方 原 病 院	市 立 島 田 市 民 病 院	
浜 松 赤 十 字 病 院	藤 枝 市 立 総 合 病 院	
木 村 産 科 婦 人 科	医療法人清仁会日本平病院	
坂の上ファミリークリニック		

登録がお済でない医療施設はふじのくに支援センターホームページ TOP → 復職支援情報 → 復職支援協力医療施設登録より簡単に登録が可能です。是非ご協力をお願いします。

医療施設名（必須）	
ふりがな（必須）	
病院規模（病床数）（必須）	
担当者メールアドレス（必須）	
担当者メールアドレス（確認）（必須）	
住所（必須）	〒 - 半角で入力してください（住所自動入力）
連絡先（電話番号）（必須）	
ご担当者名（必須）	
貴院ホームページアドレス	http://
	内科系
	☐ 内科 ☐ 消化器内科 ☐ 腎臓内科 ☐ 神経内科 ☐ 内分泌・代謝内科 ☐ 呼吸器内科 ☐ 肝臓内科 ☐ 循環器内科 ☐ 血液内科 ☐ 免疫・リウマチ内科 ☐ 精神科神経科 ☐ 小児科

③順天堂大学医学部附属静岡病院との連携

東部地域において女性医師支援の充実を図るため若手医師が多く在籍する順天堂大学静岡病院にて女性医師3名と座談会を行いました。座談会の様子は順天堂大学静岡病院の広報誌にて掲載され、県内医療機関に配布をしました。



平成 30 年度女性医師支援連絡協議会

支援センターの業務遂行の円滑化を図るため、女性医師支援連絡協議会を設置し、協議会を年 2 回、開催しました。

第 1 回女性医師支援連絡協議会

会 期	平成 30 年 6 月 8 日（金）17：30～19：00
場 所	静岡県庁 西館 4 階第 1 会議室
出席者	出席者 6 名、その他関係者 6 名

【議題】

- (1) ふじのくに女性医師支援センターの運営における課題と対応
- (2) 平成 30 年度ふじのくに女性医師支援センター事業の目標値の設定について
- (3) 女性医師支援担当者 交流会の開催について
- (4) 相談会の開催について
- (5) 復職プログラムの運用について
- (6) シンポジウム等の共催について

第 2 回女性医師支援連絡協議会

会 期	平成 30 年 3 月 19 日（火）10：30～12：00
場 所	静岡県庁 西館 4 階第 1 会議室
出席者	出席者 7 名、その他関係者 7 名

【議題】

- (1) 平成 30 年度 ふじのくに女性医師支援センター事業実績及び平成 31 年度
ふじのくに女性医師支援センター事業計画について
- (2) 平成 30 年度 県立病院機構事業実績について
- (3) 女性医師支援連絡協議会 次期委員について

【報告事項】

- (1) 都道府県女性医師等キャリア支援連絡協議会について

一般社団法人全国医学部長病院長会議 (AJMC) では厚生労働省の委託事業として、女性医師が働きやすい労働環境の整備の充実を図ること目的として、「女性医師等キャリア支援モデル全国展開事業」を実施することとなりました。その事業の一環として静岡県においては浜松医大を幹事大学として「都道府県女性医師等キャリア支援連絡協議会」を設置開催する旨の依頼を受けました。この協議会は浜松医科大学担当者、県担当者、県医師会担当者、県立病院等の担当者から構成され、女性医師等のキャリア支援モデルを普及推進するための意見交換を目的としています。現在県を中心として開催されている「女性医師支援連絡協議会」と会議の目的が重なるため委員会の同意を得て、協議会の検討内容を「都道府県女性医師等キャリア支援連絡協議会」として報告すること致しました。

◀ キャリア支援シンポジウム ～ともに考える静岡県医療の現状と未来～ ▶

日 時	平成31年3月17日(日)
会 場	ホテルアソシア静岡
参加者	医師24名 その他11名

【概要】

今回は特別講演として香川大学皮膚科学講座講師の中井浩三先生に特別講演をしていただきました。内科医の奥様との家庭の話や人が少なくなっていく医局の中で何がこれから必要なのか考えながら新しい医局作りを進めているお話をご講演頂きました。たとえ話を交えて笑いを誘いながらも訥々とされ、これは遠い医局の話ではなく、私たちの周りでも意識しなければいけない姿勢ではないかと考えさせられました。

基調講演では伊東市民病院の田中まゆみ先生から女性医師が患者ケアの質を向上させる具体的なエビデンスを示しつつ、産後復帰をされた女性医師の支援の例を提示して頂き、女性医師のキャリア支援が病院全体の患者ケアの質を向上させる考え方をご提案いただきました。

静岡厚生病院の水野伸一先生は病院の理念として患者からも職員からも「愛される」職場作りとしての取り組みや、多様な働き方の提案、また日々の研鑽の時間も仕事と家庭と同率に大切というコンセプトから「ワークライフスタディバランス」を推進する課題と取り組みについてご発表頂きました。

中東遠総合医療センターの宮地正彦先生からは静岡県、特に中東遠地区の現状とその対策として若い学生や研修医への教育の姿勢、医師不足や時間外労働という女性医師に限らない職員全体の問題を現状把握と職員共通の認識による対策を具体的に示し、お互いがお互いをリスペクトし補いあうタスクシェアの重要性をご発表頂きました。

女性医師への働き方への対応として、研修や教育については男女差別なく、妊娠から育児期については無理をさせない配慮、そのためのタスクシェアやパートナーシップという考えが今後の課題であると考えさせられる3人の先生のご講演となりました。パネルディスカッションではご講演頂いた4名の先生方にフロアからも質問が出され活発な議論が交わされました。2時間半と言う時間が和やかな雰囲気の中、あっという間に過ぎました。



交流会

◀ふじのくに女性医師交流会▶

日 時	平成 31 年 3 月 8 日 (金)
会 場	ペガサート 3 階 CSA 会議室 B
参加者	医師 9 名

【概要】

静岡市内の病院から 8 名、東部地区から 1 名の先生が参加してくださいました。初めに女性医師連絡協議会の委員である野々木宏先生のご挨拶と自己紹介から始まり、ふじのくに女性医師支援センターの 1 年間の活動報告と県立総合病院の森先生から病院内の子育て支援の取り組みとアンケート調査報告が続いたのち、交流会が始まりました。

20 代から 60 代までの多彩な年齢の先生たちが自己紹介と普段の診療状況やこれまでの経験、キャリアを積むにあたって考えていることなどを発表して下さいました。子育てをしながら仕事を続けていけることに感謝しつつも、更にキャリアを積む為に苦労した事、もっと何かができるのではないかという悩み、サポートをしてくれる人を自分の周りに複数確保

することの難しさ、病児や学童のお子さんを抱えたときにどうすれば良いのか、フルに働ける時・そうでない時の仕事に対する責任の持ち方など、どこかから投げかけられる質問に誰かが答えていくといった様子で話が弾みあっという間の 1 時間でした。今回の会では年齢も多彩でしたが、専門科も腎臓内科・内分泌内科・皮膚科・放射線科・耳鼻咽喉科・整形外科・産婦人科と様々な診療科の医師が集まり、お互いの科の情報交換もできました。静岡県の複数の地域でこのような年齢・診療科を超えた交流ができるようになればこれからキャリアを積んでいこうとしている若い先生たちの支えとなっていくのではないかと改めて考えさせられた会となりました。

**ふじのくに
女性医師交流会**

2019年
3月8日(金)
**18時30分
～19時30分**

場所 ペガサート3階
CSA会議室B
(静岡市葵区御幸町3-21)

静岡市内開催
託児あり
(要)申込

プログラム

- 開会挨拶
- ふじのくに女性医師支援センター活動報告
- 静岡県立病院機構の取り組み
- グループ討論
- 閉会

会場までのアクセス

お問い合わせ先
ふじのくに女性医師支援センター相談窓口
(静岡県立病院機構内)
〒420-8527 静岡市葵区北安東4-27-1
TEL : 054-200-1622
メール: honbu-jouhou@shizuoka-pho.jp
担当 上原(かみしま)



学生支援

◀学生・研修医・医師交流会 はまキャリ 2018▶

日 時	平成 30 年 7 月 27 日 (金)
会 場	浜松医科大学看護学科棟
参加者	学生 16 名、医師 13 名

【概要】

今年度は学生 1 名と医師 3 名の方がお子さんと一緒に参加してくださり、とても賑やかな交流会となりました。

昨年のアンケートで交流時間が少ないとコメントがあったので、今年は少し長めに時間をとり、途中で席替えをしました。最初は少し緊張気味の学生さんたちでしたが、段々と打ち解けてどのテーブルからも笑い声が聞こえました。

今年も「復帰はいつ頃がベストなのか」「当直はいつから始めたのか。」「出産のタイミングはいつ頃が良いのか。」等々、沢山の質問が出ていました。この頃は在学中からライフイベントを意識している学生さんが多いので、実際に働いている先生に直接お話を聞く機会を提供することは重要だと感じています。毎年、どんな形で開催すると良いのかと悩みますが、ざっくばらんに話せる雑談形式が今のところ良いようです。

また、来年もより良い会になるよう考えていきたいと思います。ご協力いただいた先生方、ありがとうございました。



◀ 学生講義 ▶

ライフイベントやキャリア形成について、学生のうちから考えられるよう講義の中でロールモデルの紹介や医師を取り巻く現状等を伝えています。今年度は2回講義を行いました。

日 程	平成 30 年 7 月 6 日（金）
対 象	医学生 6 年生 109 名
講 師	谷口 千津子 「ライフイベントをプラスに変える！ ～働く側・支える側 それぞれのメリット～」

【アンケートより】

- ・ライフワークバランスやキャリアパスなどは一緒に働いている医師との兼ね合いの中でも変わっていくものだと感じました。
お互いに助け合って、それぞれより良い道を進むことが出来たら良いと思いました。
- ・結婚したり、妊娠・出産したりといったイベントが遠いことだと思っていましたが、そんなことはなく自分のキャリアとどううまく両立していくか真剣に考えなければと思いました。そのうえで具体例を交えた話が聞けたのはとてもためになりました。



日 程	平成 31 年 1 月 30 日（水）
対 象	医学生 4 年生 99 名
講 師	安田 日出夫（女性医師支援センター 副センター長） 【「女性医師支援」の本質は何か】 藤澤 泰子（女性医師支援センター 運営医員） 【女性医師支援～ダイバーシティの視点から】

【アンケートより】

- ・女性医師が働きやすい環境は男性医師が働きやすい環境でもあるということが分かりました。
- ・自分の好きと思える分野や長所を活かせる専門的なスキルを身に着けたいと思いました。
- ・女性医師支援というと男性の自分は全く関係が無いように感じていたが、講師の実体験を聞くとそんなことを言っていないのだと感じました。



相談窓口の設置

出産・育児などライフイベントによる医師としてのキャリア継続の不安をお持ちの方や、休職中の方、復職を考えている方へ就業・キャリアに関する相談窓口を開設しています。

対応者	コーディネーター 2 名（専任医師 1 名、専従事務員 1 名）
開設時間	平日 9 時から 17 時まで

センターの活用

センターでは畳スペース・ソファースペース・テーブルスペースを自由にご利用いただくことが出来ます。カーテンで仕切り体調不良時の休憩や搾乳として利用したり、一時的な保育スペースとして活用いただいております。大学に所属する医師だけでなく、これから復職を考えている方や他の病院に勤務されている方等、どなたでもご利用いただけます。



マタニティ白衣 無料貸出いたします！

院内全地域対象！

マタニティ白衣の特徴

新しい白衣がいつでもあります。

- スリット入り、カフ入りの白短袖で着脱しやすい（楽）
- 産科用と違い、産婦人科特有のデザイン
- 産科用とは異なり、スリット入りで着脱しやすい
- 産科用とは異なり、スリット入りで着脱しやすい
- 産科用とは異なり、スリット入りで着脱しやすい
- 産科用とは異なり、スリット入りで着脱しやすい

サイズ	身長	バスト	肩幅	袖丈
標準S	95	92	38	55
マタニティS	90	112	38	51
標準M	100	101	39	56
マタニティM	95	116	39	51

● 2枚1セットでレンタルします。
※標準サイズは当院産科大学の白衣サイズを掲載しています。

レンタル方法

※画面上にありません。ご希望に入らない場合があります。

1

申込書にご記入いただき、メール又はAXで窓口へ提出

➡

2

在庫確認後、ご連絡いたします。

➡

3

窓口で直接お渡し、又は郵送となります。
送料はセンターで負担いたします。

返却方法

クリーニング済ませた白衣を窓口にて直接お待ちいただくか、郵送でご返却下さい。（返却時の送料はご負担ください）

センターに
来れる方は試着が
可能です。

お問い合わせ・申し込み

浜松医科大学女性医歯支援センター
〒431-3192 浜松市中央区山田3-20-1
TEL/FAX 053-435-2580 E-mail: dr-inf@hamam-med.ac.jp

ホームページからダウンロードできます。

<http://www.hamam-med.ac.jp/efile/whitlab/>

印刷 内容説明 検索

広報活動・情報発信

23

ホームページ

【概要】

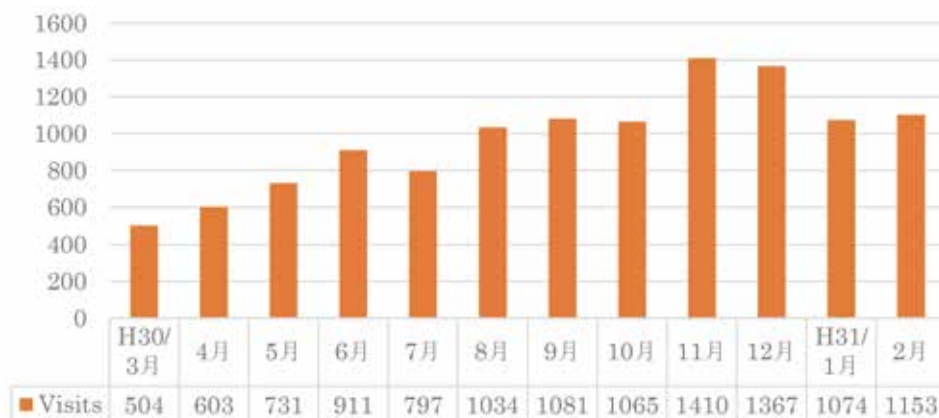
静岡県内で活動する女性医師の就業や子育てに関する情報とふじのくに女性医師支援センターの取組を掲載するホームページを平成30年2月に開設しました。医師としてのキャリア形成や仕と家庭の両立を希望する女性医師が医療機関情報や地域の子育て支援情報をインターネット上で容易に収集できることで県内での就業復帰を後押しすることを目的としています。

ふじのくに女性医師支援センターホームページ

<https://www.fujinokuni-w.jp/>

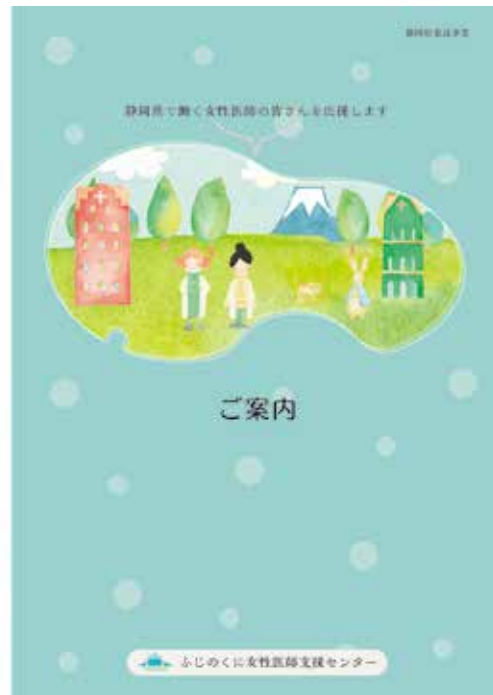


ホームページアクセス数



アクセス数は Webalizer ソフトを使用し、30 分以内の同一 IP を除いた訪問者数をカウントしています。

広く周知をするため、パンフレットを作成し県内医療施設 181 施設と浜松医科大学の卒業式・入学式、各イベントにて配布しました。



メディア掲載

毎日新聞
朝刊

平成 30 年 4 月 30 日

ふじのくに女性医師支援センター 開設 1 年 子育て中の女性医師復帰
平成 29 年度の活動について取材を受けました。

公開サイト：毎日新聞公式ホームページ

<https://mainichi.jp/articles/20180430/ddl/k22/040/118000c>

リクルート
ドクターズ
キャリア

平成 30 年 7 月号 「静岡県特集」にてセンターの取組を紹介しました。



(リクルートドクターズキャリアより転載)

毎日新聞
朝刊

平成 30 年 9 月 5 日

クローズアップ 2018

医学部入試文科省調査の記事において谷口医師がコメントしました。

公開サイト：毎日新聞公式ホームページ

<https://mainichi.jp/articles/20180905/ddm/003/100/042000c>

ジェイズ vol.1

順天堂大学医学部附属静岡病院広報誌「ジェイズ」vol.1 平成 30 年秋
自分らしい生き方・働き方 ～Jを支える女性医師～

順天堂大学医学部附属静岡病院の女性医師 3 名と座談会を開催しました。

詳細は P14 へ

NHK ラジオ第 1

平成 31 年 2 月 11 日放送

ジャーナル Note

「追跡 女医の働く現場で」

谷口医師が荒木美和アナウンサーの
取材を受けました。


講演会・シンポジウム等での発表

平成 30 年 7 月 17 日

谷口千津子「**静岡県**の女性医師支援について」

静岡県議会議員（医療、介護、保育等に関する厚生委員会委員）10名、健康福祉部等関係事務局職員
4名が来学しました。サポート体制、活動内容を説明しました。

平成 31 年 1 月 10 日

谷口千津子「**ふじのくに**女性医師支援センターの活動状況について」

平成 30 年度 静岡県医師会 勤務医委員会、
ワークライフバランス ワーキンググループ「合同協議会」
ホテルセンチュリー静岡 5 階「サルビア」

平成 31 年 1 月 27 日

谷口千津子「**女性医師支援：静岡県内の課題と取組み**」

平成 30 年度「拡大医療改革委員会」兼「産婦人科医療改革 公開フォーラム」
フクラシア東京ステーション 会議室 H

平成 31 年 3 月 17 日

谷口千津子「**ふじのくに**女性医師支援センターの取組とアンケート調査について」

キャリア支援シンポジウム「ともに考える静岡県医療の現状と未来」
ホテルアソシア静岡 4 階カトレア

その他

◆参加

平成 30 年 5 月 12 日、13 日

日本産科婦人科学会第 70 回学術講演会

招聘講演 野田聖子「女性が健やかに輝き続ける社会へ」

仙台国際センター会議棟 2F 第ホール

指導医講習会

男女共同参画・ワークライフバランス改善委員会／産婦人科未来委員会共同企画

「今の時代の働き方 医師が辞めないチームを作る」

仙台国際センター会議棟 2F 第ホール

平成 30 年 7 月 9 日

第 54 回日本周産期・新生児医学会学術集会

女性医師が学会運営に携わることを推進する WG 主催のカフェ

東京国際フォーラム ホール E

平成 30 年 11 月 11 日

日本医師会女性医師支援センター事業 中部ブロック会議
名古屋マリオットアソシアホテル 16 階

平成 30 年 11 月 2 日

全国医学部長病院長会議（AJMC）『女性医師等キャリア支援連絡会議全国会議』
東京医科歯科大学 M&D タワー鈴木章夫記念講堂

平成 30 年 12 月 9 日

平成 30 年度女性医師支援担当者連絡会
日本医師会館大講堂

◆ブース出展

平成 31 年 3 月 21 日

静岡県医師臨床研修・専門医研修病院合同説明会
グランシップ



28 アクセス・発行について



平成 30 年度ふじのくに女性医師支援センター活動報告書

発行 印刷日 3月 22 日

発 行 3月 29 日

発行所 ふじのくに女性医師支援センター

〒 431-3192 静岡県浜松市東区半田山 1-20-1

浜松医科大学医学部附属病院女性医師支援センター内

電話 /FAX 053-435-2380

E-mail dr-info@hama-med.ac.jp

URL <https://www.fujinokuni-w.jp/>

編集 センター長 戸倉新樹

コーディネーター（医師）谷口千津子

コーディネーター（事務）袴田菜穂子

